

資 料

- 山科区保健福祉センター組織図 . . . 1
- 山科区における保健事業について（健康長寿推進課） . . . 3
- 山科区における障害保健福祉の状況について（障害保健福祉課） . . 4
- 山科区における母子保健事業について（子どもはぐくみ室） . . . 6
- 医療衛生センター・コーナーの業務（医療衛生センター） . . . 9
- 平成29年度の地域における健康づくり事業について
（健康長寿推進課） . . . 14

区役所における保健福祉センターの設置に伴う窓口の再編について

参考

平成 29 年 5 月 7 日までの窓口

窓 口		おもな業務内容
福 祉 部	福祉介護課	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険 子ども医療，ひとり親家庭医療，老人医療，障害者医療 児童手当，敬老乗車証 夏季歳末貸付，高校進学・修学支援金 戦没者遺族援護 生活保護（経理・医療券） 民生児童委員
	支援課	<ul style="list-style-type: none"> 保育所入所，子ども支援センター，やましまっことお誕生おめでとう事業等児童福祉 母子寡婦父子福祉資金貸付，母子支援施設入所 身体・知的障害福祉（含障害児），自立支援医療（更生） 高齢者福祉（日常生活用具給付等），地域ケア会議，老人福祉員 地域福祉推進委員会
	保護課	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護
	保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険 後期高齢者医療 国民年金
保 健 部	健康づくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健（乳幼児健診等） こんには赤ちゃん事業 食育 小児慢性特定疾患 精神障害保健福祉，自立支援医療（育成・精神） 難病 予防接種（高齢者・子ども） がん検診 感染症（結核，肝炎，エイズ等） 地域医療機関連携（医師会等） 保健委員（協議会） 地域健康づくりグループ育成
	衛生課	<ul style="list-style-type: none"> 旅館，公衆浴場，理容，クリーニング及び飲食店等許可申請・監視指導 食中毒・食品衛生 害虫駆除 犬・猫（動物愛護）

再編のポイント

① 発達支援を含む子どもに関する業務を総合的かつ専門的に所管する「**子どもはぐくみ室**」を設置し，子どもに関する相談に対し，ワンストップで一元的

② 「子どもはぐくみ室」のほか障害保健福祉，健康長寿推進，生活福祉（生活保護等），保険年金，医療衛生相談の**6つの窓口**に再編成したうえ設置

③ 福祉部と保健部を統合して「**保健福祉センター**」を創設

④ 健康長寿推進課においては，「健康長寿のまち・京都」の実現と地域包括ケアの推進に向け，「**健康長寿推進・地域支援担当**」を設置

⑤ **医療衛生部門は，区役所から保健福祉局に所管換え**し，区役所においては，同局の出先事業所として，簡易な相談に対応する窓口を

平成 29 年 5 月 8 日からの窓口

窓 口	おもな業務内容			
	福祉部から	保健部から		
保 健 福 祉 セ ン タ ー	子どもはぐくみ室 (旧保健センター) 1階 西	<ul style="list-style-type: none"> 保育所入所，児童手当，子ども医療 総合相談・ネットワーク構築 やましまっことお誕生おめでとう事業 ひとり親家庭支援（貸付，施設，医療） 高校進学・修学支援金 	<ul style="list-style-type: none"> 母子保健（乳幼児健診等） 小児慢性特定疾患 予防接種（子ども対象） 食育 こんには赤ちゃん事業 	
		障害保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 身体・知的障害福祉（含障害児） 自立支援医療（更生） 障害者医療 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害保健福祉 自立支援医療（育成・精神） 難病
	健康長寿推進課	高齡介護保険担当 (旧福祉介護課) 2階 東	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険 介護予防，日常生活支援総合事業 老人医療 敬老乗車証 	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種（高齢者対象）
		健康長寿推進担当・地域支援担当 (旧支援課) 1階 東	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティと協働した健康長寿の推進（地域支え合い活動創出事業等） 高齢者福祉（日常生活用具給付等） 地域ケア会議 地域福祉推進委員会 民生児童委員（会） 老人福祉員 	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿の推進に資する事業（アウトリーチ型等） がん検診 地域医療機関連携（医師会等） 保健委員（協議会） 献血推進実行委員（会） 地域健康づくりグループ育成 保健センター運営協議会等
医 療 衛 生 コ ー ナ ー	生活福祉課 (旧保護課) 2階 中央	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護（経理・医療券含む） 夏季歳末貸付 戦没者遺族援護 	—	
		保険年金課 (現行) 1階 中央	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険 後期高齢者医療 国民年金 	—
医 療 衛 生 コ ー ナ ー	医療担当 (旧支援課) 1階 東	—	<ul style="list-style-type: none"> 感染症（相談及び初動対応） 検診 ・身近な医療・健康相談 	
	衛生担当	—	<ul style="list-style-type: none"> 衛生関連相談 簡易な申請，届出受付 動物愛護（犬猫引取り） 	

*感染症や食中毒等の危機管理業務，生活衛生及び食品関係営業施設の許可・監視指導は，保健福祉局医療衛生センター1箇所で担当(平成 29 年 4 月 3 日～)

山科区における保健事業について（健康長寿推進課）

健康上の問題がない状態で日常生活が送れる期間を健康寿命といますが、京都市では、この健康寿命を伸ばし、市民の皆様お一人おひとりが、いきいきと充実した生活を送れることを目指す「健康長寿のまち・京都」を市政の最重要課題のひとつとして位置づけ、取組を進めています。

山科区においては、保健福祉センターが実施する事業の充実に加え、地域に密着した健康づくり活動を行うボランティアや地域団体等と連携することにより、住民自らに取り組む地域力を活かし、生涯を通じた健康の保持・増進並びに健康寿命の延伸に向けた健康づくり事業に取り組んでいます。

1 主な業務について

- (1) 地域の各種団体（健康長寿推進協議会※1、民生児童委員会、老人福祉員、老人クラブ連合会、地域献血会等）と連携した取組の企画・実施

※1 健康長寿推進協議会とは、自治連合会を中心とした健康づくり事業の取組を推進するとともに保健衛生の向上を図るため、保健協議会連合会の役割を移行した組織。

- (2) 各種がん検診（肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん、前立腺がん）

実績：別紙参照

- (3) 集団検診（胸部検診）：平成28年度実績 1,757人（対前年度△119人）

- (4) 健康づくり事業（健康づくりサポーター養成・活動支援、出前健康教室等）

- (5) 口腔保健に係る事業（成人・妊婦歯科相談、口腔機能相談、健康教室等）

成人・妊婦歯科相談：平成28年度実績 181人（対前年度△13人）

- (6) 食育推進事業（食育セミナー、食育指導員養成・活動支援等）

- (7) 高齢者に係る予防接種自己負担区分証明書発行

高齢者肺炎球菌減免申請数：平成28年実績 1,333人（対前年度△342人）

インフルエンザ減免申請数：平成28年実績 10,992人（対前年度△324人）

※ 平成29年5月から、組織改正に伴い高齢福祉事業も担当

2 課題と対策

- (1) 各種がん検診受診率は、胃がん、前立腺がんを除き全市平均を下回る。症状がない時から、検診を定期的に受けることで早期発見、早期治療につながることを普及啓発すること、また、様々な機会を捉えて有効な検診の周知をしていく必要がある。

- (2) 歯と口の健康増進は全身の健康増進につながる。高齢化が進む中、より一層、口腔機能（口の動き）の維持などについて理解を深めていくとともに、食習慣への関心につなげていく。健康づくりや食育、及び高齢化に伴う課題について地域ボランティアの活動等、地域組織との連携した取組の実施が必要である。

山科区における障害保健福祉の状況について(障害保健福祉課)

障害保健福祉課では、身体・知的障害と精神障害、難病をお持ちの方々の相談・支援業務と福祉サービスに関する業務を行っています。保健と福祉が一体化になったことで、ひとつの窓口で手続きができるようになり、特に複数の障害を持った方への対応が速やかにできるようになりました。障害のあるひともないひともすべての人が違いを認め合い、支え合い、住み慣れた地域で自立して生活できるよう支援、啓発を進めています。

1 精神保健関係

(1) 自立支援医療（精神通院医療）承認数及び精神障害者保健福祉手帳所持者数

自立支援医療・精神障害者保健福祉手帳の申請件数は、年々増加しており、精神科医療、福祉サービスへのニーズは高まっていると思われまます。

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	京都市	山科区	京都市	山科区	京都市	山科区
自立支援医療 (精神通院) 承認件数	25,595	2,509	23,249	2,291	27,649	2,734
精神保健福祉手帳 所持者数	13,978	1,412	14,087	1,499	15,812	1,664

(2) 精神保健福祉法による申請・通報件数

山科区は矯正施設の長からの通報が多いため、件数は全市で1番ですが、診察が必要な23条と24条の件数は、右京、左京に次いで3番目です。

通報を受けると、保健センターは、診察に係る調査など緊急対応を行っています。医療が必要な方は、適切な受診援助をし、治療中断とならないよう見守り支援を行います。

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	京都市	山科区	京都市	山科区	京都市	山科区
通報件数	366	90	372	97	502	137
うち 23条・24条 通報件数	190	16	204	22	257	40

※通報の種類

22条…診察及び保護の申請、23条…警察官からの通報、24条…検察官からの通報、
25条…保護観察所の長の通報、26条…矯正施設の長等からの通報

(3) 地域のネットワーク作りと普及啓発

精神に障害があり、社会的に支援を必要とする人やその家族が地域で安心して暮らすことができるよう、当事者やその家族、関係機関・団体等との情報交換、連携強化、さらに、区民の精神保健に関する普及啓発に取組み、精神障害者の自立や社会参加の支援、地域住民との交流を図ることを目的に、「山科こころの健康を考える会（こころのふれあいネットワーク事業）」でイベント等を行っています。

また、3障害いずれの相談にも応じる障害者地域生活支援センターなど圏域ごとの関係機関で構成する「障害者地域自立支援協議会」を通じ、専門性を高める研修や地域の支援体制の充実に努めています。

○こころのふれあいネットワーク事業（山科こころの健康を考える会）

開催日時	事業名	参加者数
平成 28 年 4 月 27 日	幹事会	10 名
平成 28 年 5 月 30 日	総 会	28 名
平成 28 年 7 月 27 日	第 17 回山科こころのふれあい夏まつり	380 名
平成 28 年 10 月 31 日	こころの健康サポーター講座	17 名
平成 29 年 3 月 8 日	精神保健福祉シンポジウム	88 名

※啓発資材

- ・山科こころのマップ：区内の関係機関を掲載した地図を区役所のホームページに掲載した。
- ・紙芝居：精神疾患の普及啓発のための紙芝居を参加事業所共同で作成した。

2 難病関係

・ 特定医療費（指定難病）支給認定受給者数

平成 26 年 5 月「難病法」が成立し、医療費助成の対象疾患（指定難病）は、段階的に増加しており、受給者数は徐々に増加しています。山科区は、市内 5 番目の受給者数です。

特定医療費の申請の機会や家庭訪問を通じ、長期に渡る在宅療養の支援を行っています。

	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	京都市	山科区	京都市	山科区	京都市	山科区
特定医療費 受給者数	11,518	1,050	12,112	1,105	13,197	1,221

○ 山科区における母子保健事業について（子どもはぐくみ室）

区の母子保健については、今年度の組織改正により新設された子どもはぐくみ室で、子育て相談担当が関係機関と連携しながら、妊娠期から切れ目のない支援を行っています。

子育てに関する保健・福祉部門が一元化されたことで、母子保健に関しては、子育て相談担当が旧子ども支援センターと一体となり、虐待予防や地域活動支援に努めています。

〈 主な母子保健事業 〉

- 母子健康手帳の交付及び妊婦相談事業（母子健康手帳交付時に保健師が妊婦への面接を行い、相談や子育て情報の提供を行うとともに、リスク要因の把握、個別支援計画の策定を行います。）
- こんにちはプレママ訪問（初産婦等の家庭を保健師・助産師等が訪問します。）
- こんにちは赤ちゃん訪問（生後4か月までの乳児の家庭を保健師・助産師等が訪問します。）
- 乳幼児健康診査（4か月児・8か月児・1歳6か月児・3歳3か月児対象）
- 育児支援家庭訪問事業（養育支援を必要とする家庭に積極的な支援活動を行います。）

〈 課 題 〉

- 保護者自身の未婚、離婚、貧困、DV、発達障害・知的障害・精神障害等の複数の要因により、子どもの適切な養育が難しい事案が少なくありません。
- また、不十分な養育環境で成育したために養育者のモデルを持たず、養育能力に問題がある保護者も少なくありません。
- 近隣や関係機関からの児童虐待の可能性があるとの情報提供がされた場合、迅速かつ適切な対応を行う必要があります。

〈 課題への対応 〉

地域連携及び室の活動を通じて得た子どもと子育て世帯に関する情報を基に、早期かつ適切に児童相談所等の関係機関と連携した支援を実施するとともに、生活福祉課及び障害保健福祉課と連携し、必要な保健福祉サービスを提供します。

- 協力医療機関から保健センターへの通知
- 母子健康手帳交付時の面接によるリスク要因の把握
- 妊婦訪問（こんにちはプレママ訪問）、新生児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）等での状況把握
- 乳幼児健康診査での成育状況等の把握
- 区要保護児童対策地域協議会の構成団体（病院・診療所、保育園（所）、幼稚園、児童館、学校、民生児童委員・主任児童委員、警察等）との情報交換

○ 山科区における子どもに関する現状（平成 28 年度）

区 分	出生数	出生率 (人口千人当たり)	合計特殊出生率	就学前児童数
全 市	11,253人	7.63人	1.30	65,503人
山科区	1,031人	7.63人	1.42	6,096人

○ 子どもはぐくみ室の母子保健事業（子育てサポート）

1 妊娠期のサポート

(1) 母子健康手帳交付

妊娠の届出があった方に母子健康手帳を交付しています。

(2) 妊婦相談事業

安心して出産・子育てができるよう母子健康手帳交付時に保健師が相談に応じるとともに、必要な情報提供を行います。

(3) 妊産婦健康診査受診券交付

お母さんと赤ちゃんの健康を守るため、病院等で受けられる健診で、妊産婦健康診査受診券により、14回の標準的な妊婦健診と、産後概ね1か月で行う健診（1～2回）の助成を受けることができます。

(4) プレママ・パパ教室

プレママ・プレパパを対象に、育児・栄養・歯科保健に関する講話や先輩ママ・パパとの交流会などを行っています。

(5) こんにちはプレママ事業（初妊婦等家庭訪問）

初妊婦及び多胎児等の支援が必要な妊婦の方を対象に、保健師又は助産師等が訪問し、体調や妊娠中の生活の相談を受け、安心して妊娠・出産・育児ができるよう子育ての情報をお伝えします。

2 妊娠・育児期のサポート

(1) 育児支援家庭訪問事業

子どもの養育について支援が必要であるものの、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に対して、保健師や助産師等による家庭訪問を行い、家庭の養育機能を回復していただき、安定した子どもの養育が可能となるよう支援を行っています。

(2) 育児支援ヘルパー派遣事業

体調不良や育児不安を抱えている妊婦さんやお母さんがいる家庭、又は在宅療養している医療的ケアが必要な赤ちゃんがいる家庭に対し、家事や育児を行うヘルパーを派遣することで、お母さんの負担を軽減し、安心して子育てができるようサポートを行います。

(3) 産前・産後ヘルパー派遣事業

第三子以降（小学生以下の子ども3人以上）の子ども又は多胎児の出産の前後で、

家事や育児を行うことが困難な家庭に対し、家事や育児を行うヘルパーを派遣することで、お母さんの負担を軽減し、安心して子育てできるようサポートを行います。

3 育児期のサポート

(1) スマイルママ・ホッと事業（産後ケア事業）

産後、体調不良や育児に不安があり、家族等から支援が受けられないお母さんが、安心して子育てできるよう病院等での一時宿泊（ショートステイ）・通所（デイケア）を通じて、お母さんの心身のケアや育児サポートを行います。

(2) こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）

生後4か月までの赤ちゃんのいる全ての家庭を対象に、保健師や助産師等が訪問し、赤ちゃんの体重測定や健康状態の確認、お母さんの産後の体調、生活及び育児等についての相談を受けています。

(3) 予防接種

予防接種には定期接種と任意接種があり、定期接種は定められた期間であれば無料（公費負担）で接種できます。

(4) 乳幼児健康診査

子どもの発育・発達の確認を行うとともに、育児・栄養・歯科に関する相談に応じています。4か月・8か月・1歳6か月・3歳3か月の子どもを対象に、対象時期になると案内をお届けしています。

(5) ふれあいファミリー食セミナー（離乳食講習会）

子どもの発達発育に合わせた離乳食の進め方を伝えるため、講話や離乳食の作り方のデモンストレーション等の教室を開催しています。

(6) フッ化物歯面塗布

母子健康手帳に綴られているフッ化物歯面塗布受診票で、子どもが2歳・3歳の時に、指定の医療機関で1回フッ化物歯面塗布を受けることができます。

(7) 乳幼児歯科相談

子どもの歯に関する悩みを解消するため、歯科健診や歯みがきなどの相談を受けています。

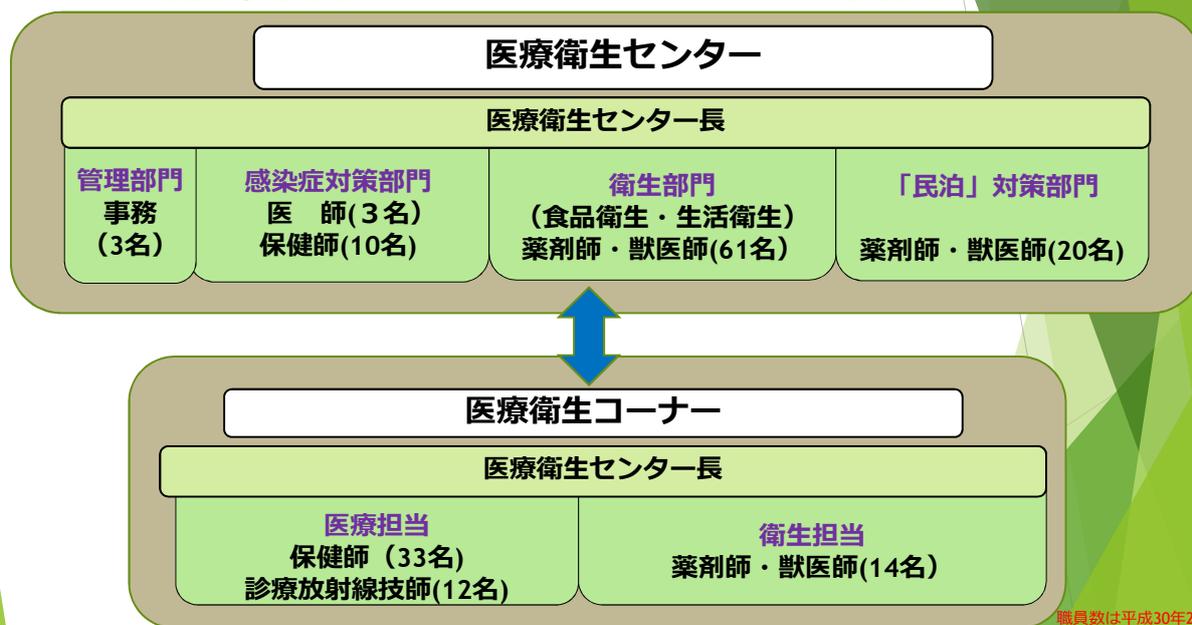
(8) 子育て教室・講座

子どもはぐくみ室、保育園、児童館、つどいの広場等では、様々な子育ての講座や教室を開催しており、「はぐくみだより」等でこれらの子育て情報の提供を行っています。

医療衛生センター・コーナー の業務

保健福祉局医療衛生推進室医療衛生センター

医療衛生センター・コーナーの組織



医療衛生センター	所在地：中京区御池通高倉西入高宮町200番地 千代田生命京都御池ビル
感染症対策部門	千代田生命京都御池ビル2階 TEL：075-746-7200
「民泊」対策部門	千代田生命京都御池ビル2階 TEL：075-746-7209
衛生部門 (食品衛生・生活衛生)	千代田生命京都御池ビル6階 ●北東部方面担当【北区,上京区,左京区,東山区担当】 TEL：075-746-7211 ●中部方面担当【中京区,下京区担当】 TEL：075-746-7212 ●西部方面担当【右京区,西京区担当】 TEL：075-746-7214 ●南東部方面担当【山科区,南区,伏見区担当】 TEL：075-746-7213

医療衛生センターの概要

▶体制

業務水準の向上及び体制強化を図ることを目的として、平成28年度まで各区（支所を除く）に設置していた衛生課の業務、感染症業務等を一元化し、平成29年度に医療衛生センター・医療衛生コーナーを設置した。

- (1) 感染症や食中毒対応などの健康危機管理業務について、迅速かつ柔軟に対応できる体制を構築
- (2) 「民泊」指導や営業許可などの計画的・一体的に行う業務について、専門性を向上させ、効率的に行う体制を構築
- (3) 業務集約化により体制強化を行うとともに市民からの相談にきめ細かに対応するため、区役所・支所に窓口を確保し、区役所・支所との一体性を確保

担当事務〈医療衛生センター〉

【感染症対策部門】

感染症の予防・まん延防止に関すること

感染症発生届の受理

結核・感染症（感染性胃腸炎，病原性大腸菌感染症等）

その他の疾病（H I V等）に関すること

山科区における感染症届出状況

【おもな 感染症（結核以外）】

- 腸管出血性大腸菌感染症 5
- 重症熱性血小板減少症候群 1（住所地は市外）
- レジオネラ症 5
- その他5類感染症 15

【結核】

	山科区	京都市（参考）
新規登録者（罹患率）	32（23.7）	246（16.7）
喀痰塗抹陽性者	13	90
新規登録者における割合	40.6%	36.6%
潜在性結核感染症	12	85

※ 山科区の新規登録者のうち，25名は65歳以上です。

担当事務<医療衛生センター>

【「民泊」対策部門】

宿泊施設に係る審査及び指導に関すること

- ・旅館業法による許可及び申請並びに届出に関すること
- ・旅館に関する必要な報告及び立入検査
- ・違法な「民泊」の適正化に向けた指導

担当事務<医療衛生センター>

【衛生部門】

● 食品衛生に関すること

- ・食品関係営業施設の許可・届出及び監視・指導に関すること。
- ・食中毒対応 など

● 生活衛生に関すること

- ・生活衛生関係営業施設等（公衆浴場，理容所，美容所等）の許可，届出及び監視・指導に関すること。
- ・動物愛護関連業務（まちねこ活動支援事業・ペット防災・啓発活動等）及び狂犬病予防に関すること。など

担当事務＜医療衛生コーナー＞

医療担当

- ・結核対策における健診・保健指導等
- ・肝炎治療医療費の助成
- ・被爆者相談，健診等

衛生担当

- ・食品衛生に関する届出等，その他ご相談
- ・生活衛生（理容，美容等）に関する簡易な届出等
- ・改葬許可
- ・衛生害虫に関するご相談
- ・犬・猫に関するご相談

平成29年度の地域における健康づくり事業について

1 健康に係る地域課題

各種検診結果から、山科区における健康課題が見受けられる。(資料編参照)

(1) 望まれる健康意識の向上

ア 「がん検診」受診率の低迷。

平成28年度受診率は、胃がん、前立腺がんを除き全市受診率を下回る。

(表1, グラフ1~6)

イ 「特定健康診査※」受診率の低迷。

受診率は、全市受診率を下回る。(表2~3, グラフ7~8)

※ 京都市国民健康保険に加入の40歳~74歳の方を対象とする健康診査

(2) 「特定健康診査」結果における課題

ア 高血圧、脂質異常症(女性)、糖尿病の有病者の割合が全市平均を上回る。

(表5~7, グラフ10~15)

イ メタボリックシンドローム該当者割合について、女性の該当者が全市平均を上回る。(表8, グラフ16~17)

(3) 口腔保健の課題

ア 低い全市3歳児におけるフッ化物歯面塗布率。(表9, グラフ18)

イ 高い中学生う歯罹患率。

(4) 認知症や介護等の支援を必要とする高齢者の増加

ア 市内で東山区に次いで高い高齢化率。(表10, グラフ19)

イ 単身高齢世帯の増加。(表11, グラフ20~21)

2 重点的な取組について

上記課題の解決に向けて、地域団体と連携のもと、以下の事業を充実していく。

(1) 各種がん検診, 胸部検診, 成人・妊婦歯科相談等の受診率向上の取組

(2) 健康づくりサポーターを中心とする運動の普及

(3) 地域団体等との連携による健康づくりの普及啓発

ア 地域団体等からの求めに基づき、健康教室等を開催する。

イ 地域団体等と連携し、さまざまな場を活用した健康づくり事業の企画・立案を積極的に支援する。(実技指導, ブース設置)

※ 参加者層や会場規模等に応じて、専門家による講話, 体操実技, 健康チェック, パネル展示, 紙芝居等, 多様な媒体を活用し, 普及啓発を図る。

(4) 認知症対策の充実

3 地域団体等との連携及び健康課題の情報共有

地域団体等と連携し、地域における新鮮な情報収集に努めるとともに地域課題や解決策等の情報提供を行うことにより、実効性のある継続的な取組を進める。

<連携方法>

- ア 地域団体の役員等を対象とした研修会を開催するなど、山科区における健康課題及び解決策等について説明することにより、理解を深めていただき、区民への啓発及び周知を図る。
- イ 地域団体の定例会議等に参加し、事業への協力を依頼するとともに、地域団体等が把握されている課題等の情報収集に努める。
- ウ 地域団体の主催される事業への専門職の立場からの支援及び協力していく。

4 実績

○健康教育等（平成30年1月末実績）

項目	テーマ等	対象	その他
運動、ロコモ予防、その他	各学区まつり等における健康チェックや保健指導等	音羽，西野，勸修山階南，区民ふれあいまつり	
口腔保健	乳幼児期の歯の健康	山階南児童館，小野児童館，安朱フリースペース利用の親子	
	健康長寿延伸のための口腔機能の維持・向上	北花山元気クラブ	
	お口からの低栄養予防	勸修地域女性会	
	歯のひろば	山科区民	
認知症等	口腔機能の維持・向上と認知症予防山科わっはっは体操大作戦	地域で健康づくりに活躍している方	3回
	認知症の医学的知識と早期発見，治療及びケア	民生児童委員（老人福祉部会）	
	認知症の人と家族へのかかわり方と福祉施策活用		
	福祉施設における体験実習		
栄養	心の健康寿命延伸体験事業 清水焼絵付け体験・クッキング	山科区民公募	
	食育セミナー	山科区民公募	4回
	中高年者の低栄養予防	勸修地域女性会，みみずく山科支部会員	
情報提供等	地域における健康づくり	西野，安朱	

○広報物の作成等

【各がん検診受診率 平成28年度】

(資料)平成28年度がん検診精度管理委員会資料抜粋

受診率(%)=受診総数/対象者数

対象者数=対象年齢人口-就業者人口+農林水産業従事者(国勢調査の数値を使用)

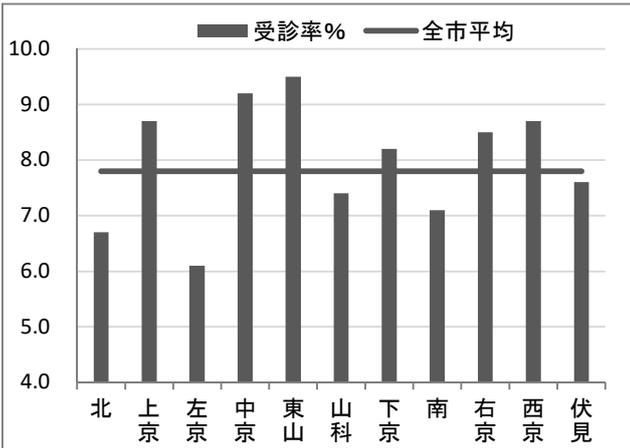
受診率

<表1>

		肺がん	大腸がん	胃がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん
対象年齢		40歳以上			30歳以上	20歳以上	50歳以上
対象年齢人口		38,709			14,365	15,956	6,007
受診総数	全市	30,727	25,533	7,656	22,913	19,314	2,009
	山科区	2,880	2,226	743	2,089	1,574	211
受診率	全市	7.8	6.5	1.9	15.2	11.4	3.3
	山科区	7.4	5.8	1.9	14.5	9.9	3.5

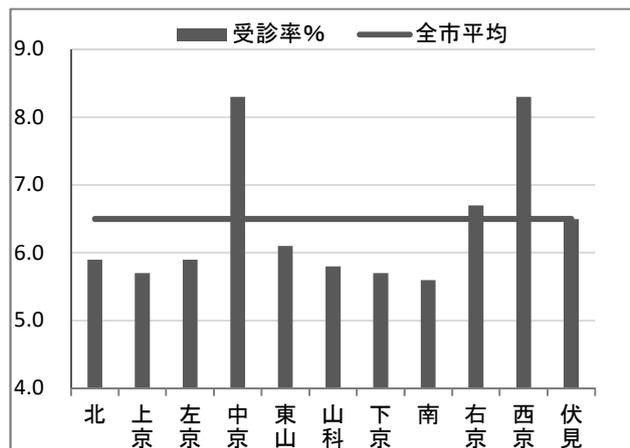
(肺がん)

<グラフ1>



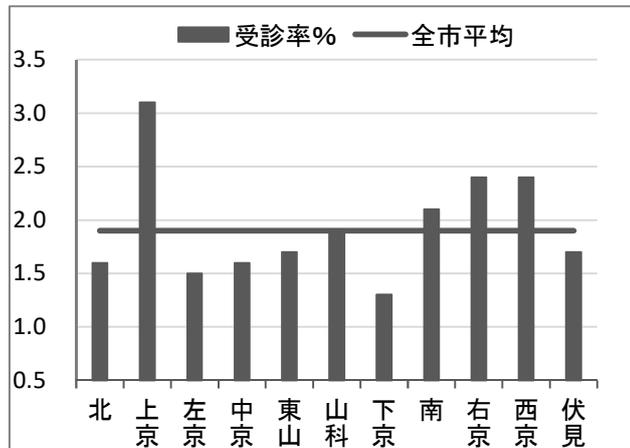
(大腸がん)

<グラフ2>



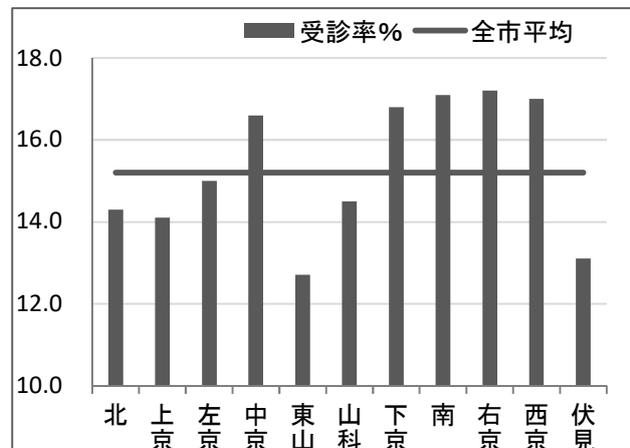
(胃がん)

<グラフ3>



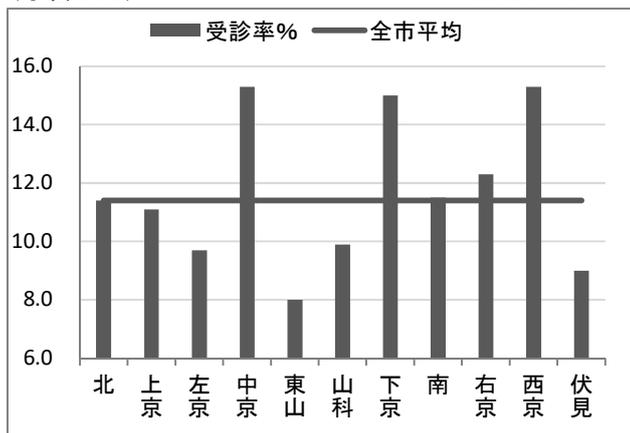
(乳がん)

<グラフ4>



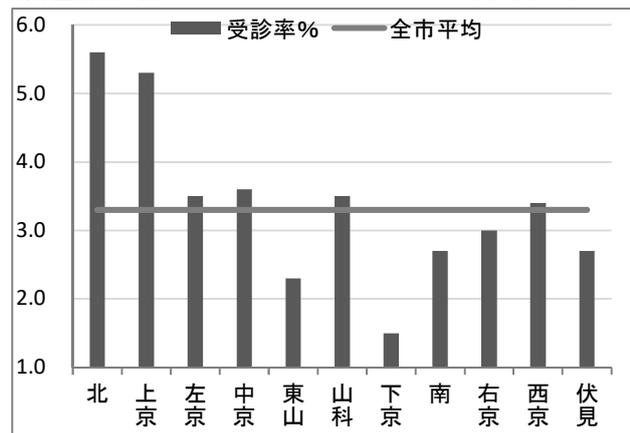
(子宮がん)

<グラフ5>



(前立腺がん)

<グラフ6>



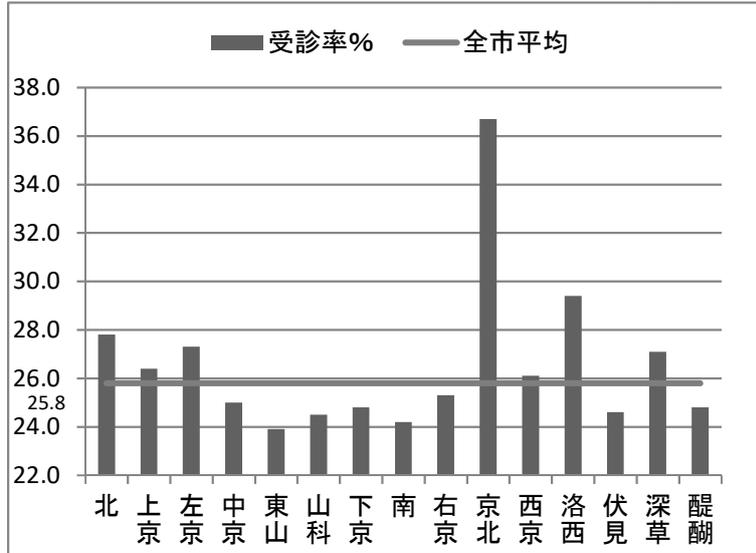
【特定健康診査受診率】

(資料)平成28年度国民健康保険特定健康診査結果から

<表2>

	受診者数	受診率%
北	4,892	27.8
上京	3,020	26.4
左京	6,527	27.3
中京	3,665	25.0
東山	1,550	23.9
山科	5,270	24.5
下京	2,571	24.8
南	3,542	24.2
右京	7,244	25.3
京北	435	36.7
西京	3,360	26.1
洛西	2,675	29.4
伏見	6,086	24.6
深草	2,443	27.1
醍醐	2,214	24.8
全市	55,494	25.8

<グラフ7>

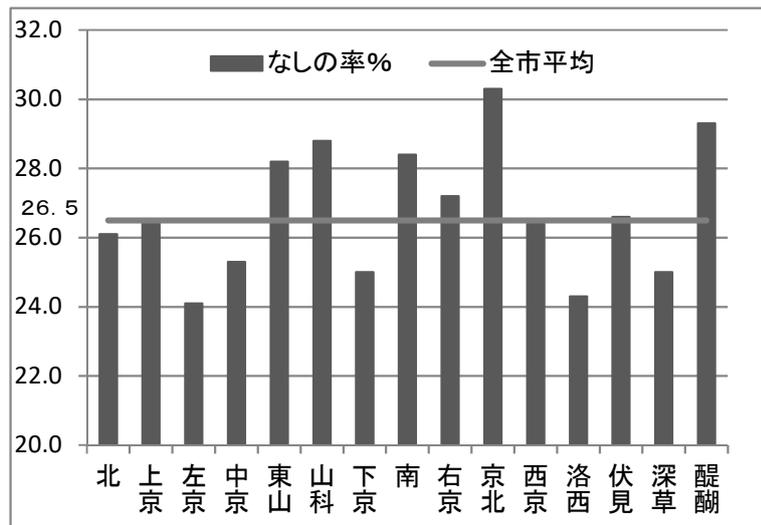


【特定健康診査質問で生活習慣の改善意志なしの方】

<表3>

	なしの率%
北	26.1
上京	26.5
左京	24.1
中京	25.3
東山	28.2
山科	28.8
下京	25.0
南	28.4
右京	27.2
京北	30.3
西京	26.4
洛西	24.3
伏見	26.6
深草	25.0
醍醐	29.3
全市	26.5

<グラフ8>

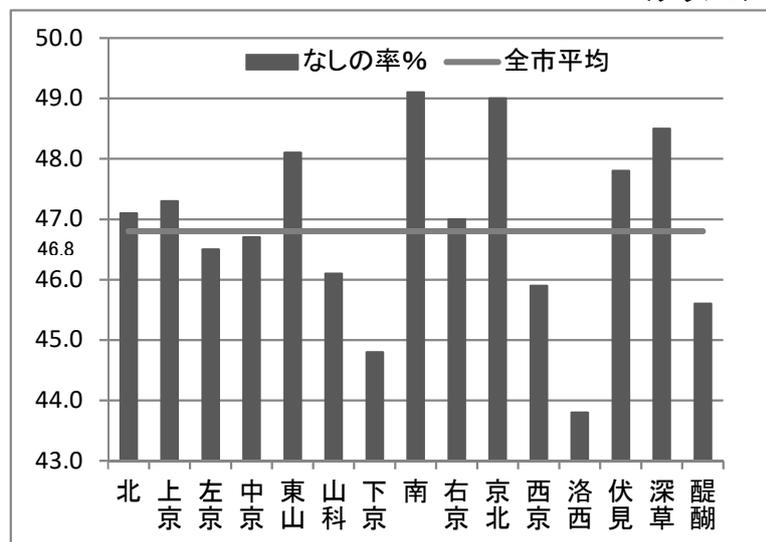


【特定健康診査質問で日常生活で1日1時間以上の歩行, 身体活動なしの方】

<表4>

	なしの率%
北	47.1
上京	47.3
左京	46.5
中京	46.7
東山	48.1
山科	46.1
下京	44.8
南	49.1
右京	47.0
京北	49.0
西京	45.9
洛西	43.8
伏見	47.8
深草	48.5
醍醐	45.6
全市	46.8

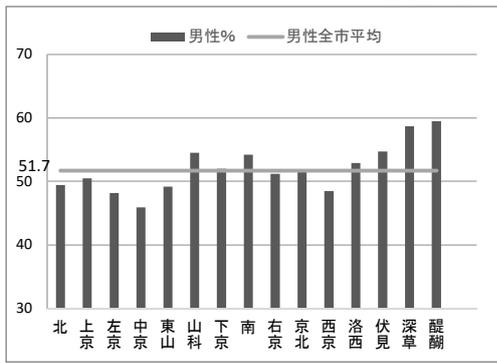
<グラフ9>



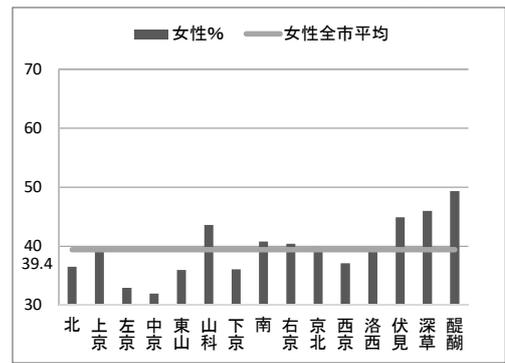
【高血圧者(有病者)の割合】
 <表5>

	男性%	女性%
北	49.4	36.5
上京	50.5	39.1
左京	48.2	32.9
中京	45.9	32.0
東山	49.2	36.0
山科	54.5	43.6
下京	52.0	36.1
南	54.2	40.8
右京	51.2	40.4
京北	51.9	39.8
西京	48.5	37.1
洛西	52.9	39.4
伏見	54.7	44.9
深草	58.7	46.0
醍醐	59.5	49.3
全市	51.7	39.4

⇒上140以上,又は下90以上,又は通院中
 <グラフ10>



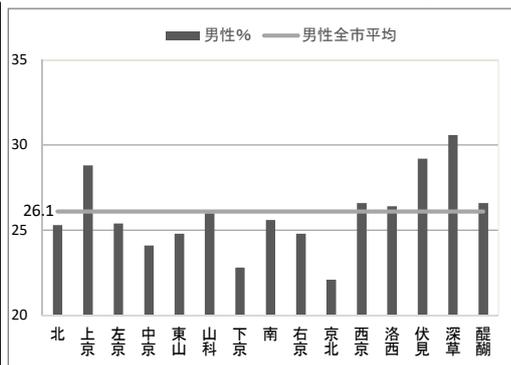
(資料)平成28年度国民健康保険特定健康診査結果から
 <グラフ11>



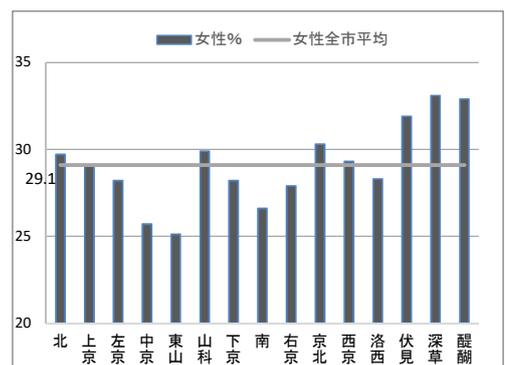
【脂質異常症(有病者)の割合】
 <表6>

	男性%	女性%
北	25.3	29.7
上京	28.8	29.1
左京	25.4	28.2
中京	24.1	25.7
東山	24.8	25.1
山科	26.0	29.9
下京	22.8	28.2
南	25.6	26.6
右京	24.8	27.9
京北	22.1	30.3
西京	26.6	29.3
洛西	26.4	28.3
伏見	29.2	31.9
深草	30.6	33.1
醍醐	26.6	32.9
全市	26.1	29.1

⇒HDL40未満,又は通院中
 <グラフ12>



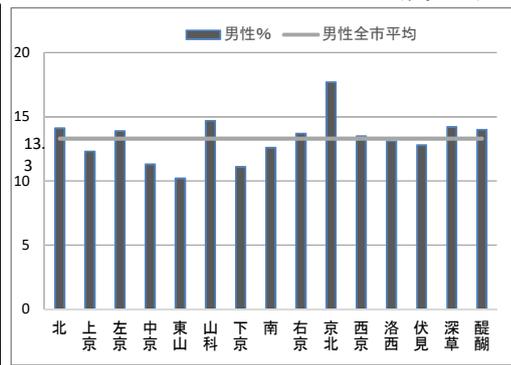
<グラフ13>



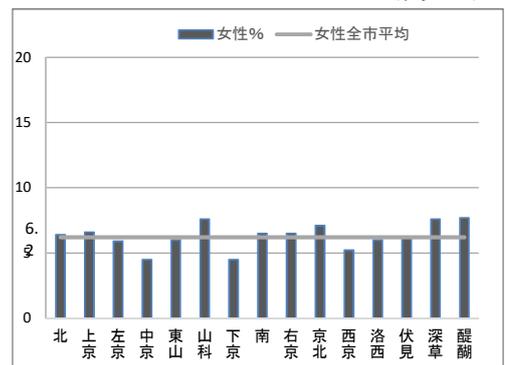
【糖尿病者(有病者)の割合】
 <表7>

	男性%	女性%
北	14.1	6.4
上京	12.3	6.6
左京	13.9	5.9
中京	11.3	4.5
東山	10.2	6.0
山科	14.7	7.6
下京	11.1	4.5
南	12.6	6.5
右京	13.7	6.5
京北	17.7	7.1
西京	13.5	5.2
洛西	13.1	6.0
伏見	12.8	6.2
深草	14.2	7.6
醍醐	14.0	7.7
全市	13.3	6.2

⇒HbA1c6.5以上,又は通院中
 <グラフ14>



<グラフ15>

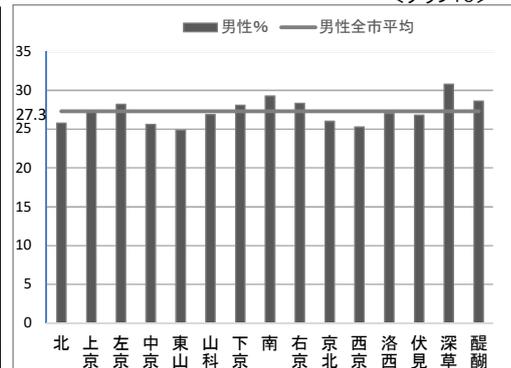


【メタボリックシンドローム(該当者)】
 <表8>

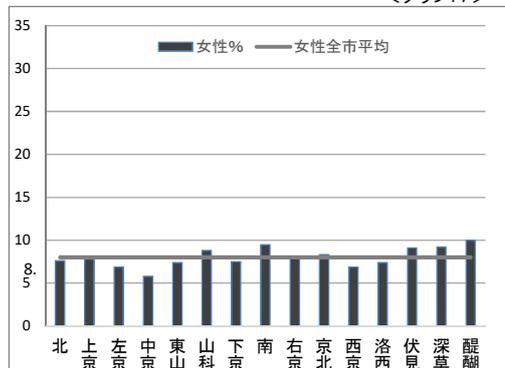
	男性%	女性%
北	25.8	7.6
上京	27.2	7.8
左京	28.2	6.9
中京	25.6	5.8
東山	24.9	7.4
山科	26.9	8.8
下京	28.1	7.5
南	29.3	9.5
右京	28.3	8.1
京北	26.0	8.3
西京	25.3	6.9
洛西	27.0	7.4
伏見	26.8	9.1
深草	30.8	9.2
醍醐	28.6	10.0
全市	27.3	8.0

⇒下表参照

<グラフ16>



<グラフ17>



メタボリックシンドローム

⇒ ○腹囲男性85cm, 女性90cm以上
 かつ

- ①血圧130mgHg以上, 85mgHg以上のいずれか又は両方
 - ②中性脂肪150mg/dL以上・HDLコレステロール40mg/dL未満のいずれか又は両方
 - ③血糖110mg/dL以上
- の3項目中, 2項目以上該当(1項目該当で予備群)

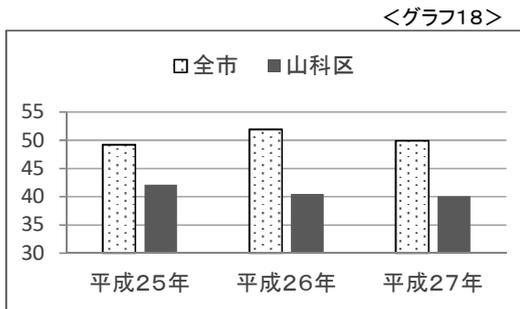
【平成28年度国民健康保険特定健康診査～山科区の概況】

- 対象者 京都市国民健康保険加入の40歳～74歳の方 21,506人
 <参考> >40歳～74歳人口 65,493人(平成28年10月)
- 受診者 5,270人
- 受診率 24.57%

【フッ化物歯面塗布券の利用率(%)】 利用率＝塗布券利用者／3歳児健診該当者数

<表9>

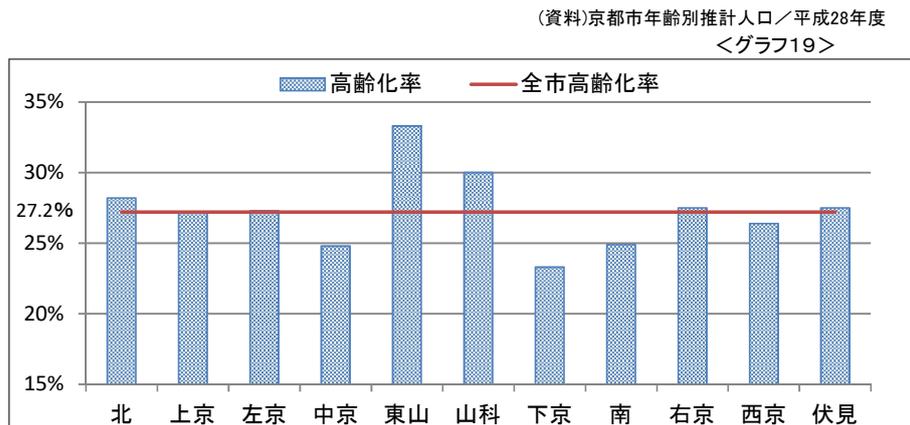
	H25年度	H26年度	H27年度
全市	49.2	51.9	49.9
山科区	42.1	40.5	40.1



【高齢化率】

<表10>

	65歳以上
北	28.2%
上京	27.2%
左京	27.3%
中京	24.8%
東山	33.3%
山科	30.0%
下京	23.3%
南	24.9%
右京	27.5%
西京	26.4%
伏見	27.5%
全市	27.2%



【高齢単身世帯数の推移】

<表11>

	平成22年	平成27年	増減	増減率
北	5,848	6,786	938	16.0
上京	4,872	5,495	623	12.8
左京	7,957	9,246	1,289	16.2
中京	5,525	7,488	1,963	35.5
東山	3,252	3,547	295	9.1
山科	6,332	8,424	2,092	33.0
下京	4,459	4,891	432	9.7
南	5,212	6,273	1,061	20.4
右京	9,252	11,409	2,157	23.3
西京	4,975	6,111	1,136	22.8
伏見	13,054	16,640	3,586	27.5
全市	70,738	86,310	15,572	22.0

